

事業評価シート

事務事業名	高齢者教育事業	担当課名	社会教育課
総合計画の 主要施策名	高齢者の生きがいつくりの推進	班 名	生涯学習班
		事業コード	3442

事業の目的	心身ともに元気で生きがいをもって暮らすために、楽しく仲間づくりができる学習や交流の場の提供。			
事業の内容	美郷いきいき大学の開催			
事業の対象	60歳以上の町民			
事業費	年度・区分	平成20年度決算	平成21年度決算	平成22年度予算
	金額	167 千円	88 千円	178 千円

事業の効果等	<p>継続して学習している高齢者が増えている。いきいき大学で20単位以上取得した方には「学士」の称号をおくるなど学習の目標としていただいております。平成21年度では41人へ送ることができた。また、30単位以上取得した方には「修士」の称号が得られるが、平成21年度に3人が獲得している。</p> <p>平成19年度開催 6回 参加者延べ 650人 平成20年度開催 6回 参加者延べ 682人 平成21年度開催 6回 参加者延べ 677人</p>			
--------	--	--	--	--

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
	増加	横ばい	減少	かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与していない	できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	十分できている←	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	十分できている←	できている	あまりできていない	できていない
判定説明 及び考察	学習や交流の中から生きがいを発見できるような参加型の定期講座を、毎年違ったメニューで開催している。継続した受講が見込まれており、生きがいつくりに貢献している。時代に添ったメニューを今後も検討していきたい。			
事業の 方向性	さらに重点化する←	現状のまま継続する	見直しのうえ継続する	
	事業の縮小を検討する	休止、廃止を検討する		

外部評価	A	評価委員意見	参加者の生きがいつくり十分に貢献しており、かつ、受講内容の充実も担当課の創意工夫が感じられる。よって「事業の評価」の「経済・効率性」「目標達成度」も「できている」から「十分できている」に変更とする。
------	---	--------	---